

施工条件明示事項（特記仕様）		
工 程		① 工期を遵守すること。 ② 入札決定後、早急に工程表を作成し、工事監督員と協議の後、工程を決定すること。
施工時間等		① 原則昼間施工とし、8:30～17:00 を厳守すること。 ② 工事工程については工事監督員と協議の上、施工時間・行程を決定すること。 ③ 周辺町内会等から要請があった場合、工事の一時中断等に対応すること。 ④ 夏休み期間中（令和 7 年 7 月 22 日～8 月 27 日）は朝 7:15 から 18:30 まで子どもが利用するため、利用に支障がないようにすること。
用地関係		① 周辺町内会との協議を密にし、トラブルにならぬようにすること。 ② 工事車両については工事監督員の指定する場所に駐車すること。
環境対策	騒音・振動	① 作業機械は、低騒音型及び排出ガス対策型とすること。 ② 騒音・粉塵等の発生に対して綿密な工法を計画し実施すること。 ③ 騒音に配慮し、ブレーカーの使用は出来るだけ控えた工法を検討すること。
	大気・排水	① 泥水等の排水が流出しないよう防止すること。 ② 粉塵を抑制するため、散水等について十分注意すること。 ③ 強風時は施工を行わないこと。
	周辺道路	① 敷地への出入りに際し、道路及び駐車場等を汚さぬよう留意すること。 （汚した場合、請負業者にて速やかに清掃すること）
安全対策		① 工事期間は、事前に工事予告版・工事看板を配置し、周辺町内会・道路通行者への連絡を周知徹底すること。 ② 材料搬入出時には車両通行・歩行者に注意して搬出入すること。 ③ 工事進入路等に必要に応じて敷き鉄板、土嚢等をしき階段、水路、法面等の養生をすること。 ④ 周辺住民等が工事エリア内に侵入できないよう、また動線が重ならないように仮設設計、安全対策をすること。

		⑤ 車両・自転車・歩行者の安全・通行を確保すること。
工事用道路		① 交通誘導員を配置し敷地内・周辺道路に関して安全対策を講じること。
仮 設		① 周辺住民へ影響が出ないように、工事車両動線を検討すること。 ② 隣接する建築物に影響が出ないように検討すること。 ③ 着工前・完了後に周辺道路・工作物の状況について、監督員と確認をすること。
残土・廃棄物		① 工事等で生じた産業廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に基づき適正に処分すること。 ② 産業廃棄物の処分費は産業廃棄物処理税相当額を含んでいる。 ③ 建設リサイクル法を厳守し、分別解体及び特定建設資材の再資源化を行うこと。 ④ 場内に廃材を仮置きする場合は分別ボックスを配置し適切に分別すること。 ⑤ 事前に廃棄物処分計画書を提出し、承認を得た後、着工すること。
支障物件	電 気	着工前に、工事に支障がないか調査を行い、必要に応じ措置をすること。
その他		① 敷地内外の工作物等を汚損・破損した場合は、無償で現状復旧をすること。 ② 施行中に工事対象外の部分に損害が生じた場合は、施工業者の責任において修理・弁償等の補償を行うこと。 ③ 原則、数量変更に伴う増減契約変更はしない。 ④ 運搬時、積載オーバーしないこと。 ⑤ 工事に伴う官公庁等への手続きは遅延なく請負業者で費用等を含め行うこと。 ⑥ 工事着工前・騒音作業等を行う際には、必ず、周辺町内会・住民への周知を行うこと。